

肝臓・脾臓・膵臓における細胞外容積率（ECV）解析と臓器機能指標との関連に関する研究

1. 研究の対象

2022年1月1日～2025年8月31日の間に、岩手医科大学附属病院で腹部ダイナミックCT検査（非造影相・門脈相・平衡相を含む）を受けた方を対象とします。予定登録数は300人です。

2. 研究期間

研究実施許可日～2028年3月31日まで

3. 研究目的・方法

肝臓・脾臓・膵臓は、互いに代謝や血流の面で密接に関連する臓器です。近年、造影CTの画像から計算できる「細胞外容積率（ECV）」という指標が、線維化（組織が硬くなる変化）やうっ血の程度を反映する可能性が報告されています。本研究では、これら3つの臓器のECVを算出し、肝機能（ICG試験、Child-Pugh分類、MELDスコア）、血小板数や肝容積、脾容積、膵容積、耐糖能（HbA1c、空腹時血糖、HOMA-IR）との関連を調べます。これにより、従来は侵襲的な検査でしか分からなかった病態を、CT画像から非侵襲的に推定できる方法を確立することを目的としています。

方法としては、日常診療で撮影された腹部CT画像（Canon Medical Systems社製装置を使用）と、診療録に記録された血液検査や診療データを用いて統計的に解析します。追加の検査や採血は行いません。

4. 研究に用いる試料・情報

情報：CT画像（非造影相・門脈相・平衡相）、血液検査結果（ヘマトクリット、血小板数、HbA1c、空腹時血糖、HOMA-IR）、肝予備能関連指標（ICG試験、Child-Pugh分類、MELDスコア）、身長・体重・BMI・体表面積

試料：本研究では新たな試料採取は行いません。

本研究で取得した情報は、研究終了後5年間保管し、その後は適切に廃棄します。また、上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性はありません。

5. 研究費および利益相反

研究費は岩手医科大学放射線医学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究によって得られた研究成果は、学会発表や学会誌などに公表する予定があります。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
岩手医科大学放射線医学講座
講師 田村 明生
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1 番 1 号
TEL：019-613-7111（内線 6322）

研究責任者：
岩手医科大学放射線医学講座
講師 田村 明生
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1 番 1 号
TEL：019-613-7111（内線 6322）

-----以上